

## 水口地域日常生活圏域の見直しについて

### 【令和4年度 第2回甲賀市地域包括支援センター運営協議会での意見】

- ① 令和6年度に水口地域包括支援センターの1圏域を委託する計画となっていることを考えると、委託後に地域を変遷することはハードルも上がるだろうし、直営で運営しているうちに圏域分けを見直したほうがいいのではないかと。現時点で人口や高齢者数に大きな差が出ないような圏域の見直しをしたほうが良い。
- ② 委託を考えないのであれば、現状圏域を変更する必要性がないように思う。
- ③ 今後、貴生川地域の人口増加が見込まれており、水口1の人口や高齢者数が6000人を超えると推計されているので改めて圏域の検討が必要になる。  
圏域間で人口、高齢者数の差が大きくなる。
- ④ 現状は1地域包括支援センター2圏域を対応しており、2圏域分の職員がカバーしながら地域包括支援センターとして対応しているが、委託することを考えると、カバーではなくそれぞれの圏域の職員体制の中で行うことになるため、地域の見守りネットワーク活動や地域のつながりを大事にするために、圏域の変更で影響が少なくなるように。
- ⑤ 案3の圏域分けは、人口や高齢者人口だけでなく、各地域の現状や取り組み等の報告からも、自治振興会など地域との連携を考えるとバランスが取れているのではないかと。

以上の意見より、案3を事務局より提案します。

### 水口地域の圏域分けについて

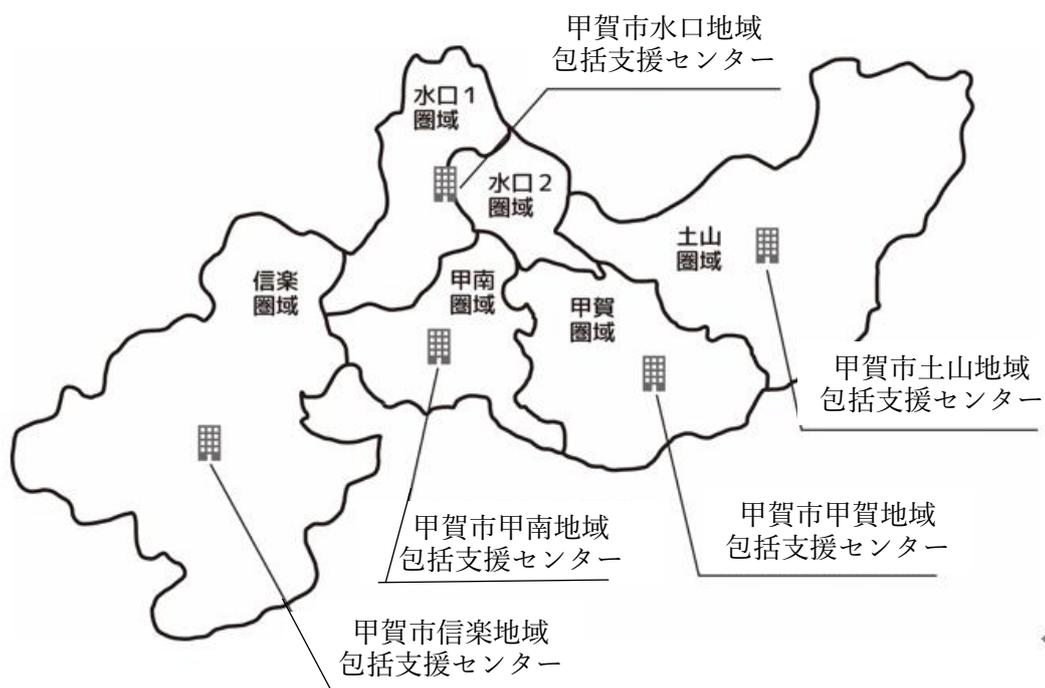
地域包括支援センター圏域分けについては、「最も効果的・効率的に業務が行えるよう市町村の判断により圏域を設定する。」と記載されている。

- 1) 水口圏域は高齢者人口が（R4.3末現在）水口1（5,197人）、水口2（4,336人）となるため水口地域の高齢者人口は9,533人
- 2) 条例で定める設置基準（高齢者人口3000～6000人に1か所の地域包括支援センターを設置）としているため、2圏域の設置は必須

### 圏域についての検討案

#### 案1 現状の圏域分けを継続する

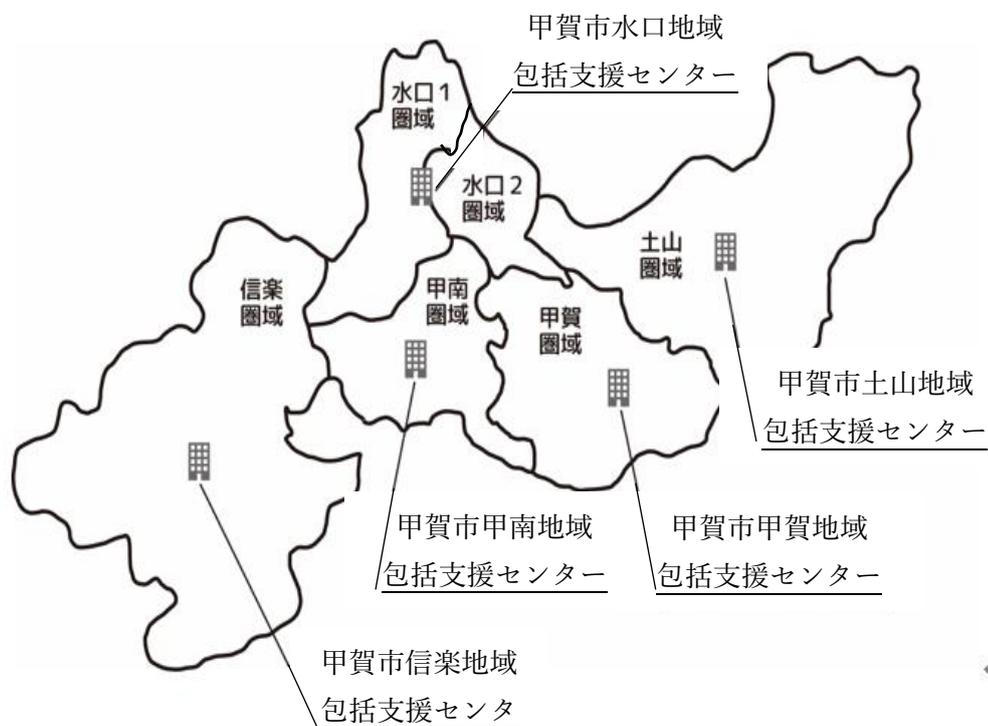
圏域	自治振興会	人口	高齢者人口	圏域	自治振興会	人口	高齢者人口
水口1	伴谷地区 (伴谷・伴谷東小)	11,722	2,216	水口2	綾野地区 (綾野小)	7,340	1,590
	柏木地区 (柏木小)	3,443	1,003		水口地区 (水口小)	7,073	1,971
	貴生川地区 (貴生川小)	8,803	1,978		岩上地区 (水口小)	2,854	775
	総数 (高齢化率)	23,968	5,197 (21.7%)		総数 (高齢化率)	17,267	4,336 (25.1%)



案2 中学校区圏を活動単位とすることは、圏域活動などとの整合性が取りやすい。

圏域	小学校区	人口	高齢者人口	圏域	小学校区	人口	高齢者人口
水口 中学 校区	伴谷学区 (山以外)	4,505	1,100	城山 中学 校区	伴谷東学区 (山)	7,217	1,116
	柏木学区	3,443	1,003		水口学区 (水口地区)	7,073	1,971
	貴生川学区	8,803	1,978		水口学区 (岩上地区)	2,854	775
	綾野学区	7,340	1,590				
	総数 (高齢化率)	24,091	5,671 (23.5%)		総数 (高齢化率)	17,144	3,862 (22.5%)

※住所地「山」は、伴谷学区と伴谷東学区の両方に含まれる。



案3 案1・2の圏域分けの折衷

圏域	自治振興会	人口	高齢者人口	圏域	自治振興会	人口	高齢者人口
水口1	柏木地区 (柏木小)	3,443	1,003	水口2	伴谷地区 (伴谷・伴谷東小)	11,722	2,216
	貴生川地区 (貴生川小)	8,803	1,978		水口地区 (水口小)	7,073	1,971
	綾野地区 (綾野小)	7,340	1,590		岩上地区 (水口小)	2,854	775
	総数 (高齢化率)	19,586	4,571 (23.3%)		総数 (高齢化率)	21,649	4,962 (22.9%)

